

# 東日本大震災による 水産への影響と対応

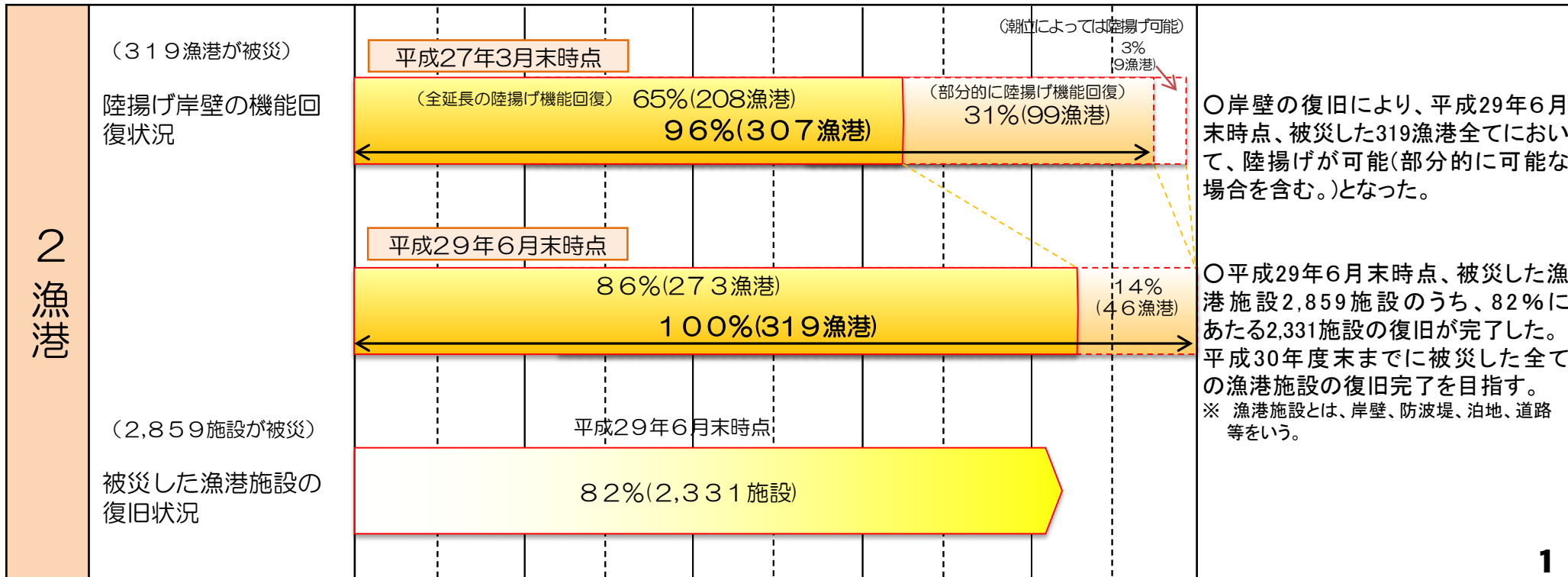
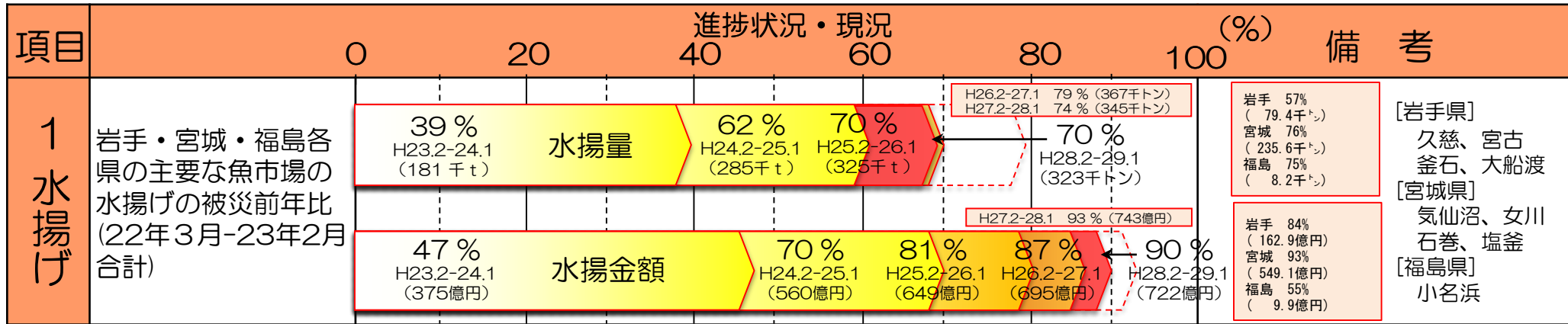
(水産の復旧・復興状況)

平成 2 9 年 7 月

水産庁

# 東日本大震災からの水産の復旧・復興状況

- 水揚げについては、震災前年比で水揚量70%、水揚金額90%。
- 漁港の復旧については、被災した漁港の全てで陸揚げ機能が回復。



# 東日本大震災からの水産の復旧・復興状況

- 漁船の復旧目標(2万隻)については、92%まで進捗。
- 直近年のワカメ、ホタテ、ギンザケの養殖生産量は、震災前年比で約7~9割。

項目	進捗状況・現況 (%)						備考
	0	20	40	60	80	100	
3 漁船	<p>(約2.9万隻が被災) 復旧目標(27年度末までに2万隻)に対する状況</p> <p>岩手 4,217 隻 宮城 3,186 隻 福島 192 隻</p> <p>岩手 7,768 隻 宮城 5,358 隻 福島 256 隻</p> <p>岩手 8,852 隻 宮城 7,310 隻 福島 383 隻</p> <p>46% (9,195隻) ※24年3月末時点</p> <p>77% (15,308隻) ※25年3月末時点</p> <p>92% (18,486隻) ※29年3月末時点</p>						24年度中に、水産基本計画の目標(25年度末までに1万2千隻)は達成。 平成28年度以降は原発事故の影響で復旧が遅れている福島県について被災地の要望を踏まえ回復を目指す。
4 養殖	<p>岩手県・宮城県の主要な養殖品目の漁協共販数量の被災前年比(22年漁期)</p> <p>※ワカメ、コンブ、カキ、ホタテ、ギンザケ養殖の直近完了漁期は平成28年漁期。</p> <p>ワカメ養殖(22年漁期(2~5月) 34,439トン)</p> <p>23年漁期 3,742トン (11%)</p> <p>26年漁期 23,100トン (67%)</p> <p>24年漁期 27,379トン (79%)</p> <p>25年漁期 30,414トン (88%)</p> <p>コンブ養殖(22年漁期(3~8月) 13,817トン)</p> <p>23年漁期 0トン (0%)</p> <p>28年漁期 5,358トン (39%)</p> <p>24年漁期 5,633トン (41%)</p> <p>27年漁期 7,205トン (52%)</p> <p>25年漁期 8,502トン (61%)</p> <p>28年漁期 25,002トン (78%)</p> <p>27年漁期 25,799トン (75%)</p> <p>カキ養殖(22年漁期(9~5月) 4,031トン)</p> <p>23年漁期 354トン (9%)</p> <p>24年漁期 719トン (18%)</p> <p>25年漁期 1,476トン (37%)</p> <p>26年漁期 2,207トン (55%)</p> <p>26年漁期 6,904トン (50%)</p> <p>27年漁期 2,360トン (59%)</p> <p>ホタテ養殖(22年漁期(4~3月) 14,873トン)</p> <p>23年漁期 56トン (0.4%)</p> <p>24年漁期 5,130トン (34%)</p> <p>25年漁期 9,245トン (62%)</p> <p>28年漁期 10,871トン (73%)</p> <p>26年漁期 11,677トン (79%)</p> <p>27年漁期 12,313トン (83%)</p> <p>ギンザケ養殖(22年漁期(3~8月) 14,750トン)</p> <p>23年漁期 0トン (0%)</p> <p>24年漁期 9,448トン (64%)</p> <p>25年漁期 11,619トン (79%)</p> <p>26年漁期 11,978トン (81%)</p> <p>28年漁期 12,159トン (82%)</p> <p>27年漁期 13,007トン (88%)</p>						26年3月末で養殖業再開希望者の養殖施設の整備が完了。  ※コンブ養殖は、同一施設で生産できるワカメ養殖への転業や低気圧被害等により、生産が伸び悩んでいる。  ※カキ養殖は、むき身加工の人手不足等により、生産が伸び悩んでいる。

# 東日本大震災からの水産の復旧・復興状況

- 加工流通施設の復旧については、再開を希望する水産加工施設の約9割が業務再開。
- がれきにより漁業活動に支障のあった定置及び養殖漁場のほとんどで撤去が完了。

